

I N F O R M A T I O N

報道関係者各位

2001年11月27日
杏林製薬株式会社
マルホ株式会社

爪白癬治療剤「ペキロン[®]のネイルラッカー製剤」における 共同開発に関する基本覚書締結について

杏林製薬株式会社（本社：東京都、社長：荻原郁夫）とマルホ株式会社（本社：大阪市、社長：高木幸一）は、杏林製薬（株）が現在開発中の爪白癬治療剤 ペキロン[®]のネイルラッカー製剤に関し、日本国内において両社で共同開発を行なうことで合意に至り基本覚書を締結いたしました。

今回の基本覚書締結は、日本国内でのペキロン[®]のネイルラッカー製剤開発のスピードアップを図りたいとする杏林製薬（株）と、皮膚科領域をより強化していくために開発パイプラインの充実を目指すマルホ（株）の意向が一致したことによるものです。

ペキロン[®]のネイルラッカー製剤は現在、日本国内において杏林製薬（株）が第 相臨床試験を進めておりますが、マルホ（株）は今後日本国内における開発に参画することになり、承認後マルホ（株）が単独販売します。この合意により、杏林製薬（株）は、契約一時金および開発作業の各段階でマイルストーンペイメントを取得いたします。

現在の爪白癬（爪の水虫）の治療は、主に経口抗真菌剤によって行なわれていますが、経口剤治療が不適切な患者さんに対しては、出来るだけ副作用の少ない安全な製剤が求められています。しかし、既存の外用剤を用いた治療では爪への薬物の付着が困難なことに加え、爪の薬物浸透性に問題があり、十分な効果を得ることが困難とされています。このため、爪に直接塗るタイプの浸透性に優れたネイルラッカーの開発を進めています。ネイルラッカー製剤は、現在日本にはなく、新剤形の抗真菌剤として爪白癬の治療に関して広く市場に受け入れられるものと考えております。

以上

この件に関するお問い合わせ

杏林製薬株式会社	企画室
TEL：03-3293-3414	
マルホ株式会社	経営企画部
TEL：06-6371-8437	

< 参考資料 >

ペキロンの特性（ペキロン®クリーム：現在発売中）

- 1 . 皮膚糸状菌に強い殺菌力を有します。
- 2 . 良好な浸透性（ラット）と持続性（モルモット）を示します。
- 3 . 白癬、皮膚カンジダ症、癬風に良好な臨床効果が認められます。
- 4 . 副作用発現率は、1.70%（76 / 4,472例）です。

主なものの局所の接触皮膚炎34例（0.76%）、発赤11例（0.25%）、そう痒11例（0.25%）でした。

杏林製薬株式会社の概要

所在地：東京都千代田区神田駿河台2 - 5

代表者：代表取締役社長 荻原 郁夫

資本金：43億17百万円（2001年11月20日現在）

年商：546億円（2001年3月期）

従業員数：1,648名（2001年3月末現在）

マルホ株式会社の概要

所在地：大阪府大阪市北区中津1 - 5 - 22

代表者：代表取締役社長 高木 幸一

資本金：3億82百万円（2001年9月末現在）

年商：277億円（2001年9月期）

従業員数：714名（2001年9月末現在）